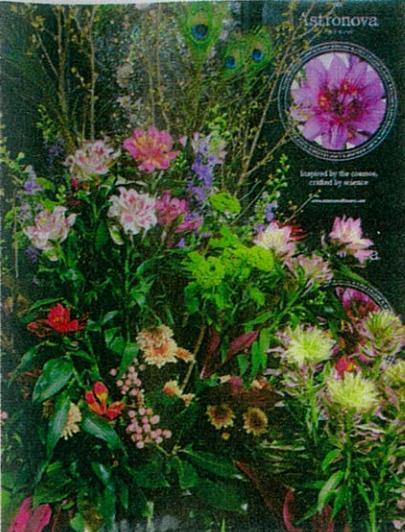


アストロノバ「クルサ」

同「メラク」



「アストロノバ」各種でディスプレー

オランダのロイヤル・ヴァン・サンテン社と福花園種苗が創出した新しい花「ASTRONOV A（アストロノバ）」（特許出願中）を3月7日、東京都中央卸売市場大田市場花き部で日本のフローリストに向けお披露目した。年間を通して多くの品種と量が販売され、天体（宇宙）と新星

トロメリア属の新しい花序タイプで、1本の茎に1つの大きな花を付ける姿と優れた花持ちを兼ね備えていることが最大の魅力。ネーミングは星のような花形からインスピレーションを受けたもので、天体（宇宙）と新星

を意味する。今回は日本人好みと好評のピンクの「クルサ」（エルダヌス座の星）をはじめ「ゲンマ」（かんラク）（おおくま座の星）、赤色の「リゲル」（オリオン座の星）など7品種が紹介された。

大田花きではセリ前あいさつが行われ、2階中央通路のセリ場入り口でレン・オーケイメイド氏がその魅力を伝え、通りではプランツ頭でもアストロノバの魅力を伝えるパートナー社の店頭でもアストロノバの魅力を伝える

ディスプレーと共に販売に力が入る。仕入れに訪れていたフーリリストからは「ステロームの長さを活用したい。葉まで色が付き葉は葉を落とすが葉も注目したい。1本でも販売できる魅力がある」などの声が聞かれた。

レン氏からは「上向きの開花なのでフラワーボックスにぎっしり詰めるデザインにも向く。花持ち良く1週間は確実で2週間から3週間まで持つ」という結果もある。それがわかつていただければ価格以上のものがある」。福花園種苗の加藤晋平氏からは「アストロノバが添え花ではなくメインの花として使ってもらえるような花になつていけると期待しています。出荷は周年ですが冬（1～5月）が最盛期。品種改良・技術向上を進めたい」と新しい花を求めているフローリストに希少性を含めた魅力を発信していた。

大田市場でお披露目

ヴァン・サンテン社と福花園種苗

魅力輝く「アストロノバ」創出



発行所
株式会社花卉園芸新聞社
(カキエンゲイ)

本社〒464-0850名古屋市千種区今池2-1-16八晃ビル2B
TEL 052-744-0733
FAX 052-744-0739

東京支局〒103-0027東京都中央区日本橋3-2-14日本橋KNビル4階
TEL 03-5201-3787/FAX3712
◎ 花卉園芸新聞社 2022年間購読料9900円(税・送込)
2年間購読18600円(税・送込)

お申込みは電話かメールで
kakiengei@minos.ocn.ne.jp
<http://www.kakiengei.jp>
(ニュースをお待ちしています)
メールかTEL 052-744-0733まで